

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

団体名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
三和陸運株式会社	代表取締役	井上 博保	福岡県	運輸業、郵便業(道路貨物運送業、倉庫業、その他の運輸業・郵便業)	http://www.sanwa-express.com

当団体は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、業界として以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	
-------	--

(取組方針)

・会員企業の事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を業界の課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、会員企業の物流改善に向けた取り組みが進展するよう、業界として支援します。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、会員企業と取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守するよう、業界として必要な啓蒙活動を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・会員企業に対して運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するよう業界として呼びかけるとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、業界としてその遵守に努めます。

※上記趣旨に賛同するとともに、業界として会員企業に推奨する取組項目

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ②	予約受付システムの導入	トラック予約受付システムを導入することで、ドライバーの労働環境が改善し、生産性の向上にも寄与することができる。
2	A ③	パレット等の活用	物流センターにおいてパレットを活用することは、積卸時間や手待ち時間の削減につながる。
3	A ⑤	幹線輸送部分と集荷配送部分の分離	中継輸送拠点に物流センターを建設し、拠点間を幹線輸送することで、輸送の効率化を図る。
4	A ⑥	集荷先や配送先の集約	数社が共同し、物流センターに集約し荷物を積替えて共同配送を実施する。
5	A ⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	九州から関東への輸送は、船舶輸送へモーダルシフトすることで、ドライバーの負担軽減とCO ₂ の削減ができる。
6	A ⑰	物流システムや資機材の標準化	物流センターにおけるRFID機器等の活用や資機材を標準化することで、早くて正確な作業が少人数で可能になる。

PR欄	
-----	--